

地域が主体の防災まちづくり 鶴嶺西地区「防災“も”まちづくりシンポジウム」を開催

市は「地域が主体となった防災都市づくりの推進」を目的に、2009年度から「防災“も”まちづくりワークショップ」を実施し、2023年度は鶴嶺西地区で「防災“も”まちづくりワークショップ」を行いました。今まで開催したワークショップの成果や、ワークショップを契機に始まった地域の活動など、今後の防災まちづくりについて話し合う「防災“も”まちづくりシンポジウム」を開催します。同シンポジウムを通し、地域の防災力を高めることを目指します。

<シンポジウムの概要>

- (1) 日 時 12月7日(土) 13時30分～16時30分
- (2) 場 所 鶴嶺西コミュニティセンター2階会議室
- (3) 主催・協力 主催：鶴嶺西地区まちづくり協議会 協力：茅ヶ崎市
- (4) コーディネーター 加藤孝明(かとう たかあき)氏(東京大学生産技術研究所教授)
- (5) 内 容 **第1部** 加藤氏による基調講演(テーマ「みんなで取り組む防災“も”まちづくり」)
鶴嶺西地区防災“も”まちづくり活動 令和6年度活動報告
第2部 防災“も”まちづくり円卓会議
(テーマ「つながろう、みんなが主役のまちづくり」)

●「防災“も”まちづくり」とは...

災害時の被害を最小限に抑えるには、様々な人たちが互いに連携し、自助・共助による地域全体の災害対応力を高めることが大切です。そのためには、防災“だけ”で取り組みを進めるのではなく、自治会や各団体が日常的に実施している活動(お祭り等のイベント、清掃活動、自治会費の集金等)を通じて顔見知りをつくる、住民同士のつながりを深めることで、結果として地域の防災力を高めることが大切です、このような活動を「防災“も”まちづくり」と位置づけています。

●「鶴嶺西地区防災“も”まちづくりワークショップ」...

鶴嶺西地区内に居住している住民34名が参加し、東京大学加藤孝明教授のアドバイスを受けながら計3回のワークショップを開催しました。ワークショップでは、災害時にどのような被害が起こるかを具体的にイメージしたうえで、実際にまちなかを歩き、地域の危険箇所や災害時に活用できそうな場所、災害後も残していきたい地域資源を確認しました。その結果をもとに、今後、地域で進める取り組みについて各グループで話し合い、「防災“も”まちづくりマップ」を作成しました。



加藤教授による講演



まちあるきの様子



グループワークの様子